

危機管理部長説明要旨（当初予算）

危機管理部長の 中村 でございます。  
どうぞよろしくお願いいたします。

まず、「和歌山県地震・津波被害想定の見直しの取組状況」について御説明申し上げます。

県では、令和7年3月に国が見直した南海トラフ地震の被害想定結果の公表を踏まえて、より詳細な県独自の想定を進めております。

今年度末に、県内の震度分布を示した「地震動予測」、津波高、浸水面積、津波到達時間などを示す「津波浸水想定」を公表する予定としており、公表前には、委員の皆様にも御説明させていただきます。

また、建物や人的被害の「被害想定」については、令和8年度の早期公表に向けて取り組むとともに、防災・減災対策についても検討を進めてまいります。

それでは、今議会に提出しております危機管理部関連の議案について、御説明申し上げます。

令和8年度予算の議案書の1ページをお開き願います。

議案第1号「令和8年度和歌山県一般会計予算」のうち、危機管理部関係では、26億8,594万円をお願いしております。

また、8ページの債務負担行為につきましては、事項番号16番から20番の5件をお願いしております。

次に、条例等の議案書の97ページをお開き願います。

議案第74号の「工事請負変更契約の締結」につきましては、

「和歌山県多重無線網再整備工事」の事業費確定により、請負者である日本無線株式会社関西支社と工事請負変更契約の締結に関し、議決をお願いするものでございます。

続きまして、当初予算案の主な施策について、御説明申し上げます。  
なお、詳細につきましては、後ほど各課長より、御説明させていただきます。

まず、地域防災力の向上に関する取組につきましては、  
地域住民主体の防災活動の活性化を推進するため、地震体験車による体験型学習を取り入れた出前教室の開催や各地域で防災の中心的な役割を果たす担い手の育成に取り組むことなどにより、地域防災活動の底上げを図ってまいります。

また、市町村が進める津波避難対策などの防災・減災の取組に対しても、財政支援を強化してまいります。

次に、災害時の情報収集力の向上に関する取組につきましては、  
県内の被害情報収集や、大規模災害発生時における防災関係機関等との速やかな情報共有及び災害対策の強化を図るため、県総合防災情報システムを再構築してまいります。

最後に、災害対応力の強化に関する取組につきましては、  
市町村、防災関係機関、民間事業者等と連携し、県総合防災訓練をはじめとした実践的な訓練を実施することで災害対応能力をさらに向上させるとともに、旧南紀白浜空港跡地の航空機活動拠点としての機能を充実させてまいります。

私からは以上でございます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

危機管理消防課長説明要旨

危機管理消防課長の 藤戸 でございます。

予算説明書「出」の21ページをお開き願います。

第1目「防災総務費」25億5,760万9千円のうち、危機管理消防課では6億8,726万2千円をお願いしております。

主な事業についてご説明いたします。

「3 出張！減災教室」につきましては、  
県民の防災意識を高め、地域防災力の向上を図るため、学校や地域のイベントなどで、地震体験車による地震体験などの体験型学習を取り入れた防災・減災に関する出前教室を実施する経費として、  
3,031万2千円を、

「5 石油コンビナート等防災対策」につきましては、  
石油コンビナート等特別防災区域における災害の発生及び拡大の防止に関する防災対策を確立するほか、南海トラフ地震の被害想定の見直しに伴い、県石油コンビナート等防災計画における災害想定を見直すため、防災アセスメント調査の実施に要する経費として、  
6,395万4千円をお願いしております。

次に「出」の22ページをお開き願います。

まず第2目「消防連絡調整費」で1億2,124万9千円をお願いしております。

主な事業についてご説明いたします。

「5 消防学校管理運営」につきましては、  
県内消防力の充実強化を図るため、消防職員、消防団員等を対象とした教育訓練を実施する県消防学校の運営及び施設管理に要する経費として、  
8,607万4千円をお願いしております。

次に第3目「銃砲火薬ガス等取締費」で708万2千円をお願いしております。

主な事業についてご説明いたします。

「2 高圧ガス保安」につきましては、  
高圧ガス保安法及び液化石油ガス法に基づく高圧ガスの製造、販売、貯蔵、移動、消費等の保安対策などに要する経費として、  
415万円をお願いしております。

続いて、債務負担行為について、ご説明いたします。

「雑」の16ページをお開き願います。

事項16の「令和8年度出張！減災教室業務委託」に要する経費につきましては、

先ほど御説明させていただいた出前教室を3か年で委託することにより、2年度、3年度目に切れ目なく円滑に事業を実施するため、令和9年度から令和10年度までの2年間で、  
限度額6,062万円4千円の債務負担行為をお願いしております。

以上、よろしく願いいたします。

防災企画課長説明要旨

防災企画課長の 大畑 でございます。

予算説明書「出」の21ページをお開き願います。

第1目「防災総務費」25億5,760万9千円のうち、防災企画課では12億2,817万9千円をお願いしております。

主な事業についてご説明いたします。

「2 地域防災力向上」につきましては、

各地域で防災の中心となる地域防災リーダーを育成する紀の国防災人づくり塾を実施するほか、地域の防災活動の情報共有や意見交換を目的とした、自主防災組織や防災士等が対象の交流会の実施等により、地域の防災力向上の促進を図る経費として

790万5千円を、

「3 総合防災情報システム運営」につきましては、

県、市町村、消防本部等による迅速な防災情報の収集、共有、発信等を行うため、情報系、衛星系及び移動系ネットワークからなるシステムを運営するほか、利用環境にとらわれない汎用性、状況把握及び情報共有などの強化を図る県総合防災情報システムの再構築に要する経費として、

9億5,696万2千円を、

「4 わかやま防災力パワーアップ」につきましては、

南海トラフ地震等の大規模災害から県民の命を守るため、市町村が進める避難路整備や資機材整備等の総合的な防災対策に加え、県の津波浸水想定の見直しに伴うハザードマップ更新を財政支援する経費として、

2億3,793万4千円をお願いしております。

続いて、債務負担行為について、主なものをご説明いたします。

「雑」の16ページをお開き願います。

事項17の「令和8年度和歌山県総合防災情報システム（情報系）構築及び運用保守委託」に要する経費につきましては、

先ほど御説明させていただいた県総合防災情報システム再整備後の運用保守業務を委託するため、

令和9年度から令和13年度までの5年間で

限度額5億2,157万円の債務負担行為をお願いしております。

以上、よろしくお願いたします。

災害対策課長説明要旨

災害対策課長の 花田 でございます。

予算説明書「出」の21ページをお開き願います。

第1目「防災総務費」25億5,760万9千円のうち、災害対策課では6億4,216万8千円をお願いしております。

主な事業についてご説明いたします。

「1 防災訓練の実施」につきましては、南海トラフ地震等の大規模災害に備え、自衛隊、警察、消防等防災関係機関との連携の強化や職員の災害対応能力の向上、県民の防災意識向上を目的に、県総合防災訓練などの各種防災訓練を実施する経費として、453万9千円を、

「2 防災ヘリコプター運営」につきましては、防災ヘリコプターの運航管理や防災航空センターの運営に要する経費として、3億9,112万4千円を、

「3 災害対応力強化」につきましては、大規模災害発生に備え、旧南紀白浜空港跡地の航空機活動拠点としての機能を充実させるため、ヘリコプターの場外離着陸場整備などを実施するほか、災害時の職員用食糧備蓄、緊急消防援助隊の活動などに要する経費として、2億4,650万5千円をお願いしております。

続いて、債務負担行為について、ご説明いたします。

「雑」の17ページをお開き願います。

事項20の「令和8年度旧南紀白浜空港跡地の防災拠点整備」に要する経費につきましては、

先ほど御説明させていただきました旧南紀白浜空港跡地の航空機活動拠点の整備が令和9年度に及ぶため、  
限度額3億3,523万4千円の債務負担行為をお願いしております。

以上、よろしくお願いたします。